EVENT
「学生デザインレビュー2000.in福岡」

建築や都市について勉強している学生たちから募集した作品を多方面の専門家が講評。学生たちの作品を通して、現代建築や都市を取り巻く問題について、広く一般の方々を交えて考える場とします。

日　時：3月18日（土）
　　10時～12時　作品受付
　　13時～20時　展示
　　3月19日（日）
　　11時～18時　展示
　　11時～13時　公開審査
　　14時～18時　講評会
場　所：NHK福岡放送局
　　（中央区六本松一丁目1番10号）
　　テレビホール（展示及び公開審査）
　　ハイビジョンホール（講評会）
講評者：川島透（映画監督）
　　工藤和美（建築家）
　　隈研吾（建築家）
　　中谷正人（建築ジャーナリスト）
　　藤森照信（建築史家、建築家）
参加費：無料
問合せ：学生デザインレビュー実行委員会事務局
　　（博多デザイン倶楽部内）
　　電話092・651・8008
　　http://www3.coara.or.jp/~kumi/dr/dr.html

各界のネットワークで地域景観整備の方向性を研究
九州景観材料研究会

97年11月、景観材料メーカーと行政、学識経験者、景観コンサルタントが集まって「九州景観材料研究会」を発足、相互の情報交換を通じ地域の事情に即した景観整備のあり方について研究を行っています。これまでに7回の研究会を開き、行政の取り組みやメーカーの研究事例報告を通じてバリアフリーやユニバーサルデザインなどソフト面を中心とした討議が行われてきました。99年8月には船上から博多湾沿いの景観を視察し、シーサイドももちや御供所地区など福岡市の景観形成についての講演会を実施。地域の特色を生かし景観に配慮したまちづくりの実例が紹介されました。

「今後は、より幅広いメンバーの参加を求めながら年間テーマを設定した研究や、具体的な地域を設定し提案を行うことも視野に入れた活動を検討しています。こういった活動が材料の面から景観向上に貢献できるメーカーの育成や優良な景観材料の普及につながればと思っています」（幹事　田中　博さん（日之出水道機器株式会社））

（分野を超えたネットワークの成果が期待されます。）

編集後記

●99年4月に「路上違反広告物追放登録員制度」がスタート。登録員の皆さんの活躍ぶりを取材するため当仁小学校区・大濠公園2番町内会の活動にお邪魔しました。月に1回、土曜の朝に集合、校区内を自転車で駆けめぐって違法な立て看板やはり札を取り外し、そのあとをリヤカーで回収。1時間半ほどの作業は相当な運動量です。代表の田添さんは「いい汗かきますよ」と笑って言われますが、暑い日も寒い日も活動を続けられるのは並大抵の努力ではありません。まちを変えていく市民パワーを実感。

●市民パワーといえば、昨年発行した「彩都」第4号の読者アンケート。200通あまりのご返送をいただき、たくさんのご意見に励まされました。福岡のまちへの思いを綴る方、「期待している」と励ましてくださる方、一方で「都市景観の情報誌をわざわざつくる必要があるのか」といった厳しい見方も。「豪華すぎる」という声もありました。「彩都」は市民の皆さんと都市景観にかかわる事業者、行政等のコミュニケーションを促進し、福岡のまちがさらに磨かれ輝きを増すことを願って編集しています。「彩都」自身も読者の皆さんに磨かれて成長します。末永く愛される雑誌にしたい、というのが担当者の思いです。

●アンケートで多かったご要望。「都市景観賞の受賞作品だけでなく推薦された作品全部を見たい」うーん、でも300件近い推薦をいただいているのでとても誌面を割けないんです。毎年、9月下旬にイムズビル7階の福岡市情報プラザで推薦のあった全作品の写真展示をしています。そちらに足を運んでいただけないでしょうか。ずらっと並ぶと壮観ですよ。「彩都のバックナンバーがほしい」すみません。1号から3号までは残部がないんです。4号は若干残っています。ご希望の方は住所、氏名、電話番号、「4号希望」を明記のうえ福岡市都市景観室（左の奥付参照）まで切手を180円分送ってください。折り返し送付します。1号から3号は情報プラザか市役所4階の都市景観室で閲覧していただけます。ご利用を。（Y）

彩都　第5号
2000年2月
発行＝福岡市都市整備局
　　都市管理部都市景観室
　　〒810-8620
　　福岡市中央区天神一丁目8番1号
　　☎092-711-4395
編集＝福岡市都市整備局
　　都市管理部都市景観室
　　株式会社ジーエータップ
表紙デザイン＝松浦 佳奈子
アートディレクション＝重田 克則
デザイン＝中島 恵
撮影＝坂戸 和幸
イラスト＝古賀 俊雄
印刷＝株式会社ゼネラルアサヒ
※本誌掲載の写真・記事の無断転載及び複写を禁じます